



広島和牛 News

北海道全共まで
372日



北海道全共マスコットキャラクター
「和ぎゅりー」 承認番号4

令和8年8月19日発行 No.101

➤ 第102回 広島県畜産共進会「夏季枝肉の部」が開催されました！

令和8年7月21日（火）、広島市中央卸売市場 食肉市場（広島市西区）において、第102回広島県畜産共進会「夏季枝肉の部」が開催され、県内各地域の選定審査を経て選りすぐられた23頭の出品牛について、審査及びセリが行われました。

今回の出品牛23頭の内訳は、去勢6頭、雌15頭、参考出品牛2頭で、格付成績についてはA5が18頭、A4が5頭と上物率が高く、レベルの高い共進会となりました。また、今回から審査項目にMUF A値が追加されました。

公益社団法人 日本食肉格付協会 広島事業所・姫野所長による審査講評では、「厳しい暑熱環境下で肥育された牛だが、全体的に非常に質の高い枝肉が揃い、生産者の日頃の飼養管理技術の高さがうかがえた。最優秀賞については、ロース芯が大きく、肩からももにかけて脂肪交雑が均一で、枝肉全体のバランスが非常に優れていた。」との評価がされました。

最優秀賞に選ばれたのは、株式会社のば牧場（三次市）出品の去勢牛“徳重4”号（幸忠栄 - 勝忠平 - 百合茂）で、同社の野畑篤史さんからは、「月齢25カ月での出荷は狙ったわけではなく、通常より早い仕上がりとなったため、BMS No.10以上であればよいと考えていた。受賞には驚いたが、大変嬉しく思っている。」とコメントをいただきました。

その他、最優秀MUF A賞は、橋奥順也さん（北広島町）出品の“まりこ”号（美津金幸 - 美国桜 - 幸紀雄）と、寺尾正敏さん（安芸高田市）出品の“牧直武”号（直太郎 - 安福久 - 勝忠平）が受賞しました。橋奥さんは2年連続の受賞となりました。

今回の主な成績については、下記の表のとおりです。出品者の皆様、誠におめでとうございました。

【第102回 広島県畜産共進会・夏季枝肉の部 主な成績】



（上）左から全農広島県本部・安藤県本部長、（株）のば牧場・野畑篤史さん、広島県農林水産局・柴山農水産振興担当部長。
（左下）最優秀賞を受賞した枝肉。（右下）会場の様子。



賞	出品者氏名	出品者住所	性別	格付	BMS (No.)	ロース 芯面積 (cm ²)	枝肉重量 kg	血統		MUF A値	単価 円/kg
								父	母の父		
最優秀賞	株式会社 のば牧場	三次市布野町	去	A5	12	93	601.0	幸忠栄	勝忠平	54.5	3,830
優秀賞2席	株式会社 奥平牧場	神石郡神石高原町	雌	A5	12	97	589.2	福之姫	幸紀雄	60.8	2,690
優秀賞3席	井上 和之	広島市安佐北区	雌	A5	12	92	615.4	北美津久	福之姫	58.0	2,670
優秀賞4席	株式会社 久井牧場	三原市久井町	去	A5	12	101	549.2	北美津久	百合福久	54.7	2,500
優秀賞5席	橋奥 順也	山県郡北広島町	雌	A5	11	84	450.8	美津金幸	美国桜	64.1	2,710
最優秀MUF A賞	寺尾 正敏	安芸高田市甲田町	去	A5	10	77	485.2	直太郎	安福久	59.7	2,570
最優秀MUF A賞	橋奥 順也	山県郡北広島町	雌	A5	11	84	450.8	美津金幸	美国桜	64.1	2,710

➤ 庄原実業高校の比婆牛実演販売 大盛況！！



（上）販売ロゴ「愛に勝るものなし」のとおりに皆さん牛への愛情が溢れていました
（左）販売された庄原実業高校の皆さん

令和8年7月4日（土）、県立庄原実業高校が育てた比婆牛（芳乃照 - 立烏帽子 - 美津照重）が、LECT（広島市）とゆめタウン吉田（安芸高田市）にて、実演販売されました。今回販売された牛は「比婆牛のおいしさを一般家庭の食卓でも味わってほしい」との思いから、あえてA3を狙い、32カ月の長期肥育、ビタミン給与を続けることで赤身肉となるよう工夫して肥育されました。

LECTの売り場では、生徒がお肉のおいしさを積極的にPRしており、多くの買い物客が足を止めて購入されていました。生徒の愛情に育てられたお肉は、口に入れた途端に甘さが広がり、噛むと旨味が感じられ、後味は脂がさらっとしており、また食べたくなる美味しさでした。生徒たちの日々の努力や比婆牛のおいしさを多くの人に伝えられる実演販売でした。高校牛児の皆様の今後の活躍を応援しています！！

➤ 研修「人と牛の熱中症対策～ドローンを用いた石灰散布実演～」が開催されました！

令和8年6月4日（木）、畜産技術センター（庄原市七塚町）にて「人と牛の熱中症対策～ドローンを用いた石灰散布実演～」が開催され、80名以上の方に参加していただきました。

午前の講義では、畜産技術センター育種繁殖研究部の今井部長が牛舎の送風環境の改善について研究成果を発表されました。牛舎内の扇風機の角度や位置を調整し、風速3m/sの風を当てて、牛の深部体温を40度以下に保つことで、暑熱ストレスを軽減できることを説明されました。また、保健環境センター環境研究部木村部長から人間の熱中症対策の紹介がありました。熱中症は気象災害の中で唯一「予防できる」災害



（写真）講義される今井部長。多くの方に参加していただきました。

であり、事前の対策と早期発見で熱中症被害を抑えることが大事と説明されました。

午後の実演では、東海地方の業者が搾乳牛舎の屋根にドローンで石灰散布を行いました。水で薄めたドロマイト系抗菌系石灰を、霧状に屋根へ散布、乾燥を2回繰り返し施工されるそうです。さらっとした液状で、牛舎の樋に詰まることはなく、各種屋根材に対応可能で、遮熱効果は、3～6カ月程度で、天候によるとのことでした。散布直後、散布済みの場所と未散布の場所では、表面温度に約20度も差がありました。散布から2カ月経った現在も、牛舎内は例年の夏よりも涼しいそうです。

散布にドローンを活用することで、足場を組む必要がなく、屋根に登らなくてよいため、作業安全性の向上と効率化ができることや、高い遮熱効果を実感できる実演でした。

牛舎内の気温は、日中温められることで、外気よりも遅れて上昇します。夕方の作業も、熱中症対策を実施し、人も牛も今年の夏を乗り切りましょう。



（上）ドローン散布実施の様子。
（左）散布中のサーモグラフィーの映像。散布前後で温度の違いがこんなに変わることは、驚きの効果です。

➤ 家畜人工授精に関する講習会が開催されました

令和8年7月7日（火）から8月6日（木）、農業技術大学校（庄原市是松町）と畜産技術センターにおいて、令和8年度家畜人工授精に関する講習会が開催されました。農業技術大学校の学生5名を含む10名が受講され、家畜人工授精に必要な知識や技術の習得に励みました。座学と講義合わせて16科目もありますが、皆さん真剣に取り組まれました。

家畜人工授精の技術は、畜産業においてなくてはならない技術です。受講された皆さんが、畜産業を盛り上げる担い手として、今後活躍されることを期待しております！



（写真左）閉校式の様子。修了証書を受け取った受講生（中央）
保本畜産技術センター長（左端）、今井畜産課参事（右端）。
1カ月間の講習会お疲れさまでした！とても良い笑顔です！



（写真右）家畜人工授精の実習の様子。
黒毛和種とホルスタイン種の両方を供用しました。

★ 広島県からのお知らせ ★ 「広島血統和牛」LINE 友達募集中です！！

登録方法は
とっても簡単♪

広島血統和牛
公式 **LINE** アカウント
友だち募集中

友だち追加で役立つ情報をお届けします

- 広島県種雄牛の情報
- 家畜市場の情報
- 食肉市場の関連情報

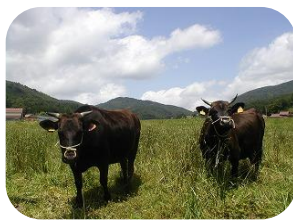
このQRコード
読み取ってね！

check

WAGYU 09
Carp × 広島和牛

検索で登録
LINEアプリの「友だち」より
「広島血統和牛」と入力し、
検索してください。
Q 広島血統和牛

Instagram、フェイスブックで広島和牛の話題を世界に発信中！フォロー・いいね！お願いします！！(^^)！



右の QR コードからアクセス！
スマホの場合、標準カメラアプリを
かざすだけで読み取り可能です！



広島和牛 NEWS は Web でも閲覧できます！！⇒「広島和牛 NEWS」で検索！

右の QR コードから広島和牛 NEWS パックンバーをご覧ください。スマホの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読み取り可能です



次号は、
令和8年9月30日発行予定！